

第 45 回定時株主総会 質疑応答（要約）

- Q 1. 新型コロナウイルス感染症の業績への影響と、そのような状況における加盟店支援はどのように なりますでしょうか？ なお、加盟店支援については一過性のもではなく、中長期的な方針を検討していますでしょうか？
- A 1. 新型コロナウイルス感染症の業績への影響については、合理的な判断が困難であり、現時点において、2020 年度事業計画を未定として発表しています。
- そして、各店舗への影響は店舗ごとに千差万別な状況となっており、1 店舗 1 店舗の状況を見て、特に経営状況が厳しい店舗に適切な支援するとともに、廃棄、省エネなどのムダを排除するように対応していきます。また、今般の新型コロナウイルス感染拡大の状況にも見られた消費者の需要変化が、これからの生活様式の変化の中でも想定され、そのようなお客さまのニーズの移り変わりに対応していきます。
- なお、セルフレジもローソンの強みですし、レジなし店舗も検討しています。一方で接客に重きを置いた店舗など、マチごとに適した新しいローソンを模索します。
- さらには、Uber Eats との取り組みのように、様々なパートナーの力も借りて、新しいビジネスモデルを作っていく気持ちで取り組みます。
- Q 2. 以前から、ローソンは、企業のアカウントとしては Twitter のフォロワー数が相当多いが、リツイートが少なく、SNS を十分に生かしていないのではないのでしょうか？ YouTube の動画再生回数も少なく、グループ従業員等の SNS 等への意識が不十分ではないのでしょうか？ オールローソンで全員が営業マンとなり SNS 等をもっと活用すれば、マスコミがインターネット上のトレンドを無償で報道してくれるので、コストもかからずに宣伝ができると思います。
- A 2. ご質問の内容も念頭に置き、社員・加盟店を含めて全員で世の中に、情報を発信していきたいと思います。
- Q 3. 株主還元策として株主優待なども必要ではないのでしょうか？
- A 3. 現時点では、株主への還元としては、配当金をもっとも価値があると考えています。
- 2019 年度は年間 1 株当たり 150 円の配当となりましたが、今後、努力して、この配当額を引きあげていきたいと考えています。
- Q 4. 社長の座右の銘をお聞かせ願えますでしょうか？
- 人生哲学を含め、社長個人として、どのような方針で経営しているのかを伺いたい。
- A 4. 我々のグループ理念は「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」であり、我々の商売は、加盟店、クルーと一緒に、それぞれのお店があるマチを幸せにするという商売です。現場、加盟店があつてこそその商売であり、現場、加盟店がもっとも大切と考え、店舗の利益にこだわります。店舗利益があつてこそその本部の営業利益というスタンスで経営をしています。
- そして、個人としての座右の銘は、「百里の道を行くものは九十九里をもって半ばとする」です。本来は「九十里」ですが、「どこまでやっても終わりでは無く、常に全力で物事に向き合え」という意味だと私は解釈しています。ローソンという 18 万人の仲間と一緒に「ありがとう。あつて良かった。」と言われるビジネスを、いつまでいつでも道半ばだという気持ちで経営にあたっています。